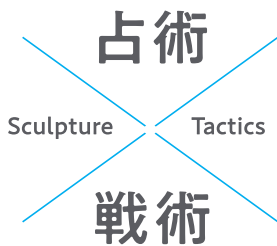


永倉尚樹 著
Naoki Nagakura

占い師の
友人から
教わった通り
実践したら、
人生が
好転した
ストーリー



推薦のことば

第5代K-1 WORLD GPスーパー・ライト級王者 山崎秀晃

こんにちは。K-1ファイターの山崎秀晃です。皆様におかれましては、平素よりたくさんのご声援をいただきまして厚く御礼を申し上げます。このたびは私のメイנסポンサー及びビジネスパートナーでもある出版オーディション株式会社 代表取締役 永倉尚樹さんが本を出版されるとの話を聞き、推薦のことばとして寄稿させていただきます。

まずは少しだけ、自己紹介をさせていただきます。私は5歳から松濤館流の空手を習いはじめ、毎日のように練習を重ねました。中学3年の時に全国大会で3位になり、以後は様々な大会で上位入賞し、21歳で上京。「チームドラゴン」の門を叩き、2009年にプロデビューを果たしました。2013年には第3代のKrush

63 kg 王座を獲得、3度の防衛に成功しました。それから65 kgに転向し、2015年11月には第4代K r u s h スーパー・ライト級王座を獲得。史上初となる2階級制覇を成し遂げることができたのです。華々しい戦績で格闘家として生きていく。そう信じて戦い続けて参りました。

しかしながら、激しい戦いにはケガがつきものです。私の場合は2014年11月K-1のゲーオ・ウイラサクレック戦で額と眼窩底を骨折し、長期にわたる戦線離脱を余儀なくされました。さらに2016年ゴンナパー・ウイラサクレック戦では左ヒザの靭帯を損傷、2017年は念願でありリベンジになるゲーオ・ウイラサクレック戦のタイトルマッチでもヒザの古傷が悪化、2018年の安保瑠輝也戦でも頬骨の骨折と、これまで選手生命さえ危ぶまれる事態を乗り越えられることはできなかったもの、ケガは自身にとって、課題の一つであることに変わりはありません。

永倉さんと出会ったのは2019年6月30日のK-1 WORLD GP 2019 JAPAN 国技館大会の後のアフターパーティーで、元K-1プロデューサーの宮田充さんよ

りご紹介いただきました。不思議とすぐに意気投合し、その後お食事をした際にも、占術のことを様々な角度で教えてくださって、私としては「当たっているところがある」と率直に感じ、心を読み取られて丸裸にされているような感覚さえ持ちました。

そこから永倉さんとは今後の展開の戦略を色々打ち合わせ、計3試合の冠協賛もしていたとき、二人三脚でK-1 WORLD GPスーパー・ライト級王座獲得まで何度も連絡を取り合い共に歩み現在に至ります。『占術の書籍出版の際は山崎選手がチャンピオンベルトを巻いた写真で推薦の帯をぜひ!』と永倉さんと2019年からずっと話していたことが、2020年9月22日のK-1 WORLD GP 2020 JAPAN ~ K-1秋の大阪決戦にてタイトルマッチで勝利し現実のものとなりました。私は今後もK-1ファイターとして戦いの中に身を置き、勝利のために鍛錬していくつもりです。その中で永倉さんのお話にでてくる占術の時期の運氣や相性なども取り入れて戦術に繋がっていく計画を立てていくことができれば、より良い未来も見えてくるのではないかと考えています。これは、格闘技やスポーツの世界だけではなく、ビジネスを成功させたい起業家や営業マンや、人生をより良いものにしたと考える様々

な方にも有効だと思っております。占術×戦術で、一人でも多くの方が最良の人生を歩むことができるよう、心から本書を推薦したいと思います。常に手元に置ける愛読書として、私も繰り返し読みながら、一つ一つ勝利を重ねて参ります。

末筆ながら、どうか今後も本書と、K-1ファイター山崎秀晃にご声援を賜りますようお願い申し上げます、推薦のことばとさせていただきます。

令和二年一二月吉日

はじめに

「占い」という言葉を聞いたとき、どんなイメージを抱きますか？

数年前までの私にとっては、**占いは年始めに初詣の流れで買うおみくじのような運試的なもの**にすぎず、**人生を左右するようなものではありません**でした。

ところが2013年に、今、ビジネスパートナーでもある「れんれき恋暦占術（個性本質学）」を生み出した統計学研究家の通称Rくんと出逢ったのをきっかけに、次第に占いに對するイメージが変わっていったのです。

友達や仕事関係者などとの間にちょっとしたトラブルがあったとき、Rくんに相談するようになりました。すると「その人は今月、こういう時期に入っているので運気が下がっているんです。だからそういうトラブルになったのでは？ 来月になると運気がアップしますから、うまくいくようになります」など、具体的なアドバイスをしてくれるのです。そしてそのほとんどが当たっていました。

この時期、Rくんに言われたことでもっとも印象的だったことがあります。

「永倉さんはもともと占いを信じるタイプじゃないですよ。でも一度、だまされたつもりで勉強しておくと、後々『ああ、当たっていたなあ。占いの知識があつて良かった』と思うことが絶対に起こってくるはずですよ」

このときも私はまだ半信半疑だったので、「へえ、そうなんですか」とさらっと流したことを覚えています。しかし、私にとってRくんの言葉は「**聖なる予言**」のような意味合いを持つようになっていったのです。

うまくいかなくなるとき占いが信じられるように

「もしかしたら占いは当たっているのかもしれない」と思うようになったのは2015年のことです。

Rくんの恋暦占術では12年周期で運気が変わっていくと考えるのですが、私はその12年周期のうちもつとも運気の悪い時期にあたっていました。

本来であれば新しいことを絶対始めないほうがいいのですが、私はこの年にRく

んのアドバイスすべて無視して引越し、新事業、入籍をしたのです。引越し、新事業、入籍という「新しいこと」の最たるもので、占いの見ると本当なら避けるべき時期でした。しかも入籍した相手はRくんから絶対やめるべきと止められていたタイプの人でした。

すると、やはり仕事やプライベートの面で、スムーズにいかないことが色々起こってきました。そうなったとき初めて今までの人生や人脈を振り返り分析していくと「この占いは高確率で当たっているのかもしれない」と思うようになりました。

ちょっとおかしな例えになりますが、インフルエンザが流行している時期に「マスクと手洗いをした方がいい」と言われていたにもかかわらず、しなかったためにインフルエンザになった、みたいな感じですよ。おそらく誰もが「ああ、やっぱり予防をしつかりしなかったからかかったのか」と思うでしょう。

それと同じものを感じたのです。

そこで2013年にRくんに出逢った年から2015年までのメールを読み返してみたところ、Rくんの予言めいた言葉やアドバイスがことごとく当たっていることに気がつきました。

これをきっかけに、私もRくんに教わりながら友達や仕事関係の人、はたまた各界の著名人の方の生年月日をインターネットで調べ、Rくんが運営している恋暦占術のサイトで入力して、その人の性格や思考パターン、運気の流れ、私との相性などを見ていき、分析するようになりました。

各界の著名人の方々は特にわかりやすかったです。スキャンダルやアクシデントが発覚する時期と、運気が下がっている時期が非常に高い確率で一致していました。

とはいえ、たまに合わないこともあります。運気がいい時期のはずなのにトラブルに見舞われているなど、**運気のリズムと実際に起こっていることが一致していない場合があるのです。**

そんなときは毎回Rくんに「どうしてこうなるんですか？」と質問すると、必ず的確な答えが返ってきます。

例えば、仲のいい友人に学生時代に起業しFXのトレーダーで安定的にうまくいっている人がいます。彼は自分一人でビジネスをやっていると調子がいいのですが、2回ほど3000万円程度の損失を出したことがありました。

その理由をRくんが分析したところ、2回ともその友人が当時付き合ってた同棲し

ていた女性との相性が、お互いに運気を下げ合う**凶事**と呼ばれる組み合わせになっていたことがわかりました。

恋人として付き合ってたまに会うくらいだけならいいけれども、運気を下げ合う組み合わせ同士が一緒に暮らし食住を共にし始める、又はお互いの12周期の凶事のリズムが重なる時期（凶事のリズムの詳細は本書公式サイトに掲載致します）に体の関係を持つとトラブルが起こるといいます。ただし、この二人は周りから止められれば止められるほど燃え上がる組み合わせなので、周りが二人を別れさせようとするのはやめた方がいいということでした。

そこで静観していたところ、二人が別れて友人が単独に戻ると、またFXで安定して利益を出せるようになりました。未だに凶事についてはとても不思議な印象です。が確かにかなり当たっているかもしれないとは日々感じます。

占術を味方にすれば人生を切り拓いていける

こうした経緯から、私は占いをビジネスや日々のコミュニケーションに活かせると考えるようになりました。

そこで私自身も勉強してみたくなり、Rくんに「誰に、どんなふうに占いを教えてもらったの？」と2018年頃に尋ねてみました。すると驚くべき答えが返ってきたのです。

実はRくんもともと占いには全く関心がなかったそうです。今から約18年前にカラオケ店でアルバイトをしていたときのバイト仲間に占いに詳しい人がいたのが、占いに興味を持つきっかけだったということです。

なんとそのバイト仲間は、カラオケ店のチラシ配りをしていたとき、たまたま通りかかった女性に気に入られ「占いを教えてあげるからいらっしやい」と言われるままに占いを伝授してもらったのだとか。そして実際にそれを日常生活に活かすようにしたところ、仕事もプライベートも人の扱いがかなり上手くなっていき、特に女性から

かなりモテるようになっていったようです。

その様子を見ていたRくんは、バイト仲間に「自分にもその占い師さんを紹介してほしい」とお願いしたのだそうです。カラオケ店のアルバイトだったRくんは、占いを学んで運気を味方につけるべく実践したところ、アルバイトを卒業して占いサイトの運営だけで優雅な生活ができるようになりました。それは現在も続いています。まさに**Rくん自身が占いを勉強して人生を切り拓いた人だったのです。**

私もRくんとRくんに占い師さんを紹介した友人である通称ダイちゃんのお二人から占い師さんを2018年10月に紹介して頂きました。2018年の10月から集中的に詰めて通わせてもらい許可を得てボイスレコーダーで録音もさせていただき、その方の約40年分のノウハウを駆け足で教わりました。

Rくんとダイちゃんと私にとっては、その方が師匠ということになります。

師匠は残念ながら2018年12月にお会いしたのが最後で2019年1月に入ってから連絡があまりとれなくなり以前から患っていた病気で2019年5月に亡くなられました。

Rくんの恋暦占術に続き、私が今回、本を出版することによって、師匠の占術である希尚占術のノウハウをご紹介できるのは本当に嬉しいことです。生前にも師匠は「おそらく自分はそこまで人生の時間が残されていないので元気なうちに希尚占術を残したい」と仰っていました。おそらく私が最後の弟子にあたるかもしれませぬ。

この占術のルーツは何千年も前に東洋で生まれ、元々は娯楽ではなく生き残るための戦術として活用されてきたものです。戦いで使われてきた歴史を持つだけあって、非常に活用のしがいのある占術です。それを師匠が確実に使える部分のみを約40年前からコツコツと抜粋し実践と検証を繰り返して完成させました。

多くの人が占術を活用して 人生を好転させることが可能

本書は希尚占術と恋暦占術の資料をベースに執筆しています。

また本書の第3章は、私が尊敬している超一流経営コンサルタントの神田昌典さん

監修の春夏秋冬理論という12周期のサイクルも参考にさせていただきながら、希尚占術の運気の12周期を常に意識し、自分自身が実践と検証を2015年から繰り返ししてきたことの結実でもあります。

また、京都の大御所であられる高島易断の高島寿周師匠からも「占いを商売としてやっていくなら信用のために免許は絶対あったほうがええ。例えば車の運転がうまいけど運転免許持っていないドライバーの横には怖くてよう乗れへんやろ？それと同じや。いくら占いが当たるといっても高島のブランドが有るか無いかはかなり大きい」とご教授いただきました。私自身も「確かに」と納得しまして弟子入りをして寿周師匠の京都の御自宅まで通わせていただき占いの歴史を1から学び、免状発行と同時に高島尚周と命名もいただきました。

この占術を公開することは、ある意味、このノウハウを活用するライバルを増やすことでもあります。

しかしそんな思いよりも、自分自身はもちろん、周囲の人がこの占術を活用して仕

事が順調になり収入が増えただけでなく、人生そのものが好転している現実を見ている私には、「こんな面白いものを自分だけのものにしておきたくない」という思いのほうがるかに強かったのです。

おりしも、本書が発行される**2020年**は私にとって運氣的にも非常に良い出版のタイミングです。

本文に入る前に申し上げておきたいことがあります。

本書では生年月日によって決まる6つのタイプの特徴について断定的に記している部分があります。

「自分はそのうちではない」や「この部分に関しては当てはまらない」と思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、本の特性上、断定的な表現のほうがりやすいためであり、例外パターンが存在するということについては承知していることをどうかご理解いただければと思います。例外パターンに関しての詳細は可能な限り本書公式サイトに掲載していきたいと思えます。

また、占術はあくまでも活用するためのものであり、結果にとらわれすぎることはないよう、ご留意いただければ幸いです。

占術の結果だけを見て、「相性が悪いからあの人とは付き合えない」とか「今は運気が悪い時期だから何をやってもダメ」などと決めつけないでいただきたいのです。

むしろそうした部分を回避するために上手に活用するもの、というふうにとらえていただければと思います。

実は私自身が占術にとらわれてしまい日々の動きの大半が占術に左右されすぎて悩んだ時期がありました。潜在意識は無意識のうちに現実化してしまいますので要注意です。

少し先の未来に、本書を読んで実践した人と出逢えることを楽しみにしています。

永倉 尚樹

占い師の友人から教わった通り実践したら、人生が好転したストーリー 目次

推薦のことば 0 0 2

はじめに 0 0 6

うまうまいかなくなったとき占いが信じられるように 0 0 7

占術を味方にすれば人生を切り拓いていける 0 1 1

多くの人が占術を活用して人生を好転させることが可能 0 1 3

第1章

人は6つのタイプに分かれる

ベースは中国の統計学「陰陽五行」 0 2 4

相性は「相生」と「相克」の関係で決まる 0 2 5

第2章

6つのタイプの相性

1つプラスされ「6つのタイプ」になった 6つのグループ	0 2 8
自分のタイプを調べてみよう	0 3 4
各グループの特徴（6グループ）	0 3 5
「月」のグループの人	0 3 8
「火」のグループの人	0 5 1
「水」のグループの人	0 6 3
「木」のグループの人	0 7 5
「金」のグループの人	0 8 7
「土」のグループの人	1 0 2
相性の良し悪しは運気に影響する	1 2 0
“人を見る目”がある人となない人のグループ	1 2 2

第 3 章

自分の運気の流れを 知って活用しよう

アメが必要なグループ、塩対応(キツイ対応)でOKなグループ	1 2 5
「月」のグループから見た相性ランキング	1 2 8
「火」のグループから見た相性ランキング	1 3 3
「水」のグループから見た相性ランキング	1 4 0
「木」のグループから見た相性ランキング	1 4 5
「金」のグループから見た相性ランキング	1 5 3
「土」のグループから見た相性ランキング	1 6 0

運気の流れを知ることと対策が立てられる	1 7 4
運気の流れは十二進法で変わる	1 7 6
12年は4つのタームに区切られる	1 7 7

1年ごとのテーマとは？ 182

自分の人生がどの運氣からスタートしているかを知ろう 198

「月」のグループ 奇数年生まれ 202

「月」のグループ 偶数年生まれ 204

「火」のグループ 奇数年生まれ 205

「火」のグループ 偶数年生まれ 207

「水」のグループ 奇数年生まれ 209

「水」のグループ 偶数年生まれ 211

「木」のグループ 奇数年生まれ 213

「木」のグループ 偶数年生まれ 215

「金」のグループ 奇数年生まれ 217

「金」のグループ 偶数年生まれ 219

「土」のグループ 奇数年生まれ 221

「土」のグループ 偶数年生まれ 223

アスリート編 226

おわりに	2
	3
	4
最後に	2
	3
	7